平成 26 年度若穂公民館運営審議会開催概要

1　日　　時　　平成 26 年６月 30 日（月）午後２時から午後４時 30 分
2　場　　所　　若穂公民館　２階　会議室
3　出 席 者　　運営審議会委員　９名　　事務局　２名
4　協議事項
　(1)　平成 25 年度公民館事業報告について
　(2)　平成 26 年度公民館事業概要について
　(3)　その他
6　議事概要
　〇協議事項
　　(1)及び(2)について資料により事務局から説明
　〇質 疑 等
　　委　員　講座とサークルの違いについて、教えてほしい。

　　事務局　ここで説明した講座とは、公民館主催で企画運営しているもので、サークルはそれぞれの団体において運営し活動していただいている。公民館は各サークルの活動の支援をしている。

　　委　員　講座によっては、人が固定化していると思うが、そのような講座はサークルへ移行していってはどうか。

　　委員　新規の受講者を集めるためには、受講者が固定化している講座はサークルへ移行して、新しい講座を開催していくことが望ましいのでは。

　　事務局　そのとおりだと思う。
　　実際、そのように成人学校や講座からサークルへ移行しているものもあるので、これからも、サークルに移行できそうな講座は、サークルへ移行して支援していきたいと思う。

　　委　員　中学生や小学生との関わりをどうすべきか、地域が将来を担う子どもたちとどう関わって、どう育てていくべきか、そういうことが将来的に大切なことではないかと感じているが。

　　委　員　中学だけでなく幼稚園・小学校から、若穂の子どもたちを地域の人たちがどう育てていくかだと思う。スポーツや文化活動などあらゆる面から、公民館という場所は媒体の一つになりうるのではないかと思う。

　　委　員　「笑いヨガ」がすごく人気で、子どもにも大人にもいいので、機会があったら取り入れてみたらどうか。

　　委　員　学校や児童センターと連携しながら進めてはどうか。

　　事務局　確かに中学生向けの事業がないのと、特に中学生は部活や受験があって

なかなか忙しく人集めが難しい。学校と連携していきたい。

委　員　杉並区のとある公民館では、事業をするときに中学生を参加させている。小さい子ども向けの事業をするときなどは、その中学生も一緒に考えて企画していて、単に「与える」だけの事業ではなく、「一緒に考えよう」としていて、中学生が自分たちで見つけ出していく機会を与えている。そういう方が、最初は数人からでも輪が広がっていくのでは。

事務局　参考にさせていただく。

委　員　川田宿ガイド養成講座は、かなり人気のようだが、実際に何回かガイドをされているか。

事務局　しています。
パンフレットを作ったが、表面に出ていない部分を毎月１回集まって資料集めなどして勉強会をしている。
川田宿へは、他地区の公民館などの団体からも来ていただいていてガイドを頼まれた。一般の観光の方にも案内したと聞いている。回数まではわからないが、今年度になってからは特にスケジュールが立て込んでいると聞いている。

委　員　車はどこに駐車したらいいのか。

事務局　できるだけ広くたくさんの方に来ていただきたいと考えているので、検討課題としている。

委　員　飯綱の牟礼へ行ったとき、街道筋の宿場にあたるということで、箱膳でふうふうたまごという料理でのおもてなしもしている。

委　員　蓮根料理で箱膳もよいのではないか。

委　員　昔ながらの料理を作るところからするのも面白い。公民館で講座として取り入れたらどうか。

委　員　食は誰でも興味があるところなので、川田宿も含め、公民館でこれらことを参考にしてほしい。

事務局　参考にさせていただく。

委　員　終活について興味があるので、講座に取り入れてほしい。

事務局　人生教室に取り入れるなど、前向きに検討したい。

委　員　長沼公民館で「地域の宝を地域で活かす」という取り組みをしている。地域の人材は地域で活用していくというもので、とてもよい取り組みを

されているので、参考までに。若穂にもいろいろ特技や知識をお持ちの方がおられる。地区内の人材を活かしてほしい。

委　員　人生教室の野外講座と歴史講座の参加の受付がすぐに定員になってしまうが、なんとかならないか。

委　員　人生教室と歴史講座の重複受講を制限してはどうか。

事務局　人生教室と歴史講座は趣旨がまったく違うので、そのような制限はできないが、確かに人生教室の野外研修は受付して 30 分ほどで定員に達してしまった。一度に数名の申し込みに来る方もいるので、そのようなところから制限をかけるなど検討したい。

事務局　色々なご意見をいただいたので、今後の活動に際し、参考にさせていただきたい。